

在宅生活改善調査

福井坂井地区広域連合

発送事業所数：43件

回収事業所数：38件

回収率：88.4%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。

(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。

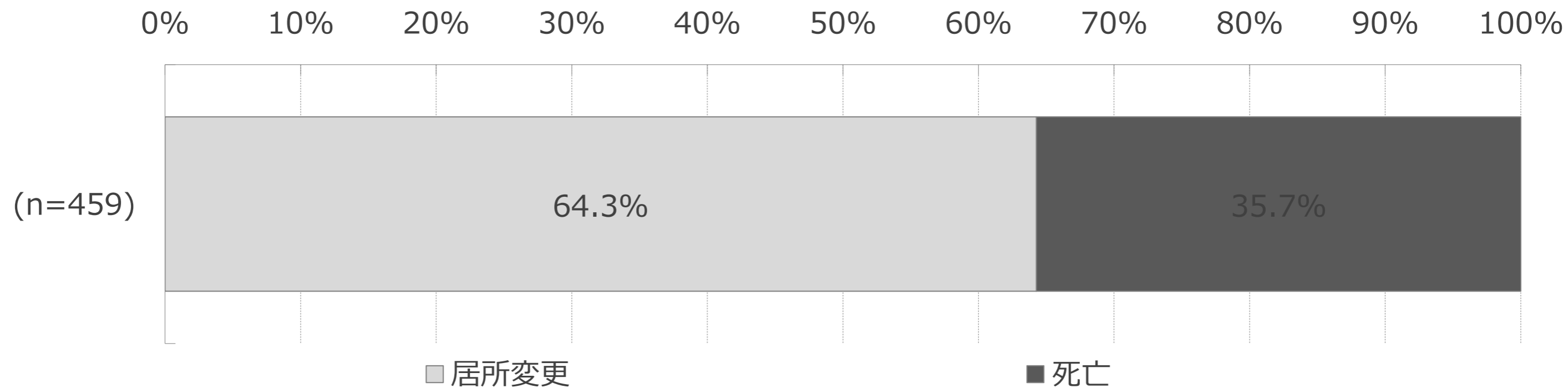
(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	2人 0.7%	10人 3.4%	12人 4.1%
住宅型有料老人ホーム	15人 5.1%	1人 0.3%	16人 5.4%
軽費老人ホーム	10人 3.4%	1人 0.3%	11人 3.7%
サービス付き高齢者向け住宅	9人 3.1%	8人 2.7%	17人 5.8%
グループホーム	18人 6.1%	2人 0.7%	20人 6.8%
特定施設	21人 7.1%	2人 0.7%	23人 7.8%
地域密着型特定施設	3人 1.0%	0人 0.0%	3人 1.0%
介護老人保健施設	54人 18.3%	8人 2.7%	62人 21.0%
療養型・介護医療院	3人 1.0%	2人 0.7%	5人 1.7%
特別養護老人ホーム	72人 24.4%	20人 6.8%	92人 31.2%
地域密着型特別養護老人ホーム	14人 4.7%	3人 1.0%	17人 5.8%
その他	12人 4.1%	4人 1.4%	16人 5.4%
行先を把握していない			1人 0.3%
合計	233人 79.0%	61人 20.7%	295人 100.0%

(注)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



坂井地区広域連合全体で、過去1年間に
自宅等から居所を変更した利用者数（粗推計）



334人

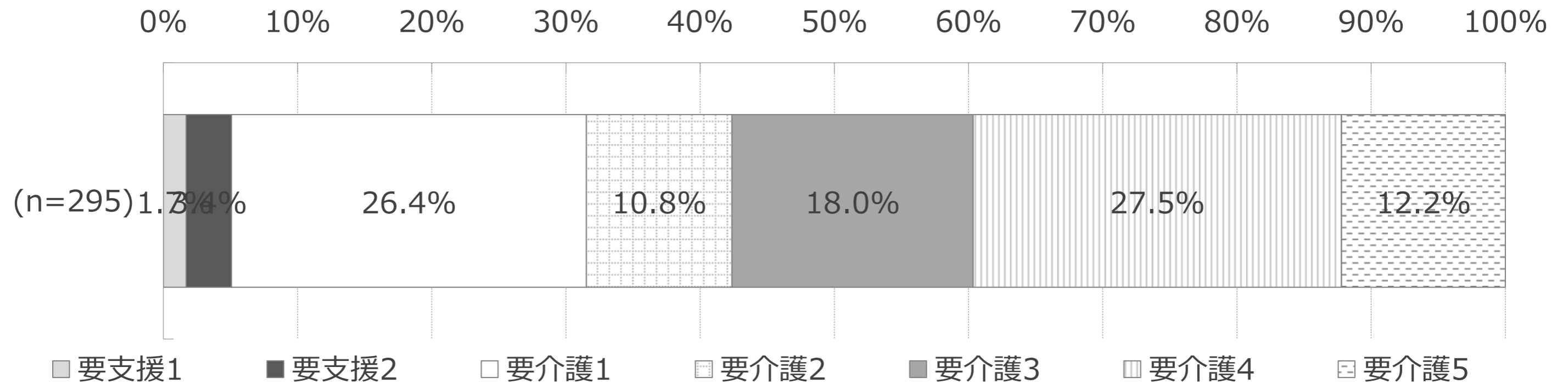
坂井地区広域連合全体で、過去1年間に
自宅等で死亡した利用者数（粗推計）



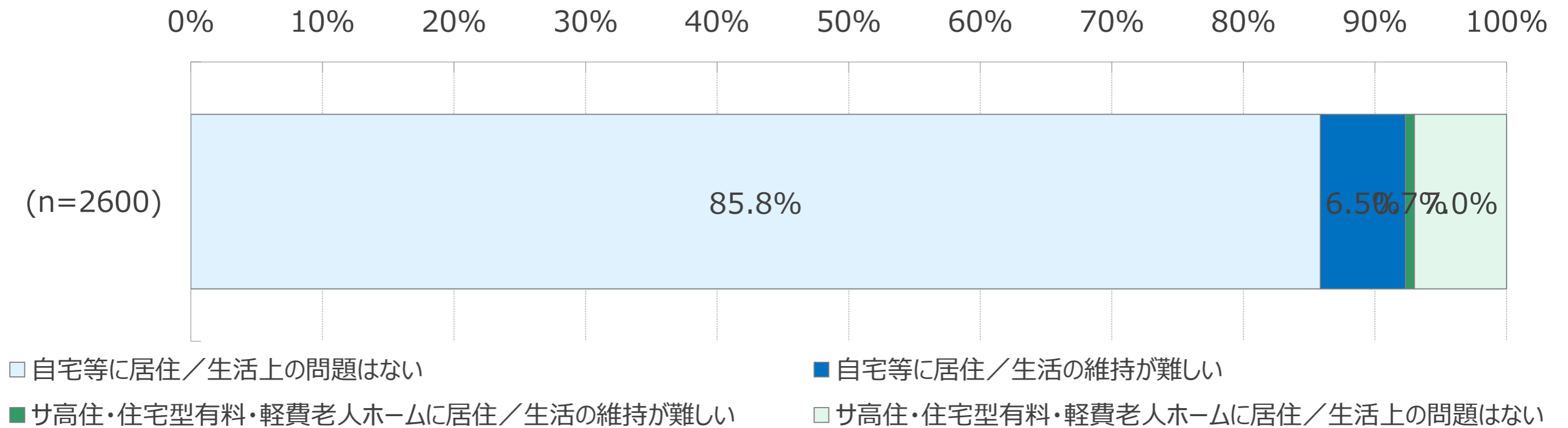
186人

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
(注2) 「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに
居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合



7.2%

坂井地区広域連合全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数（粗推計）



210人

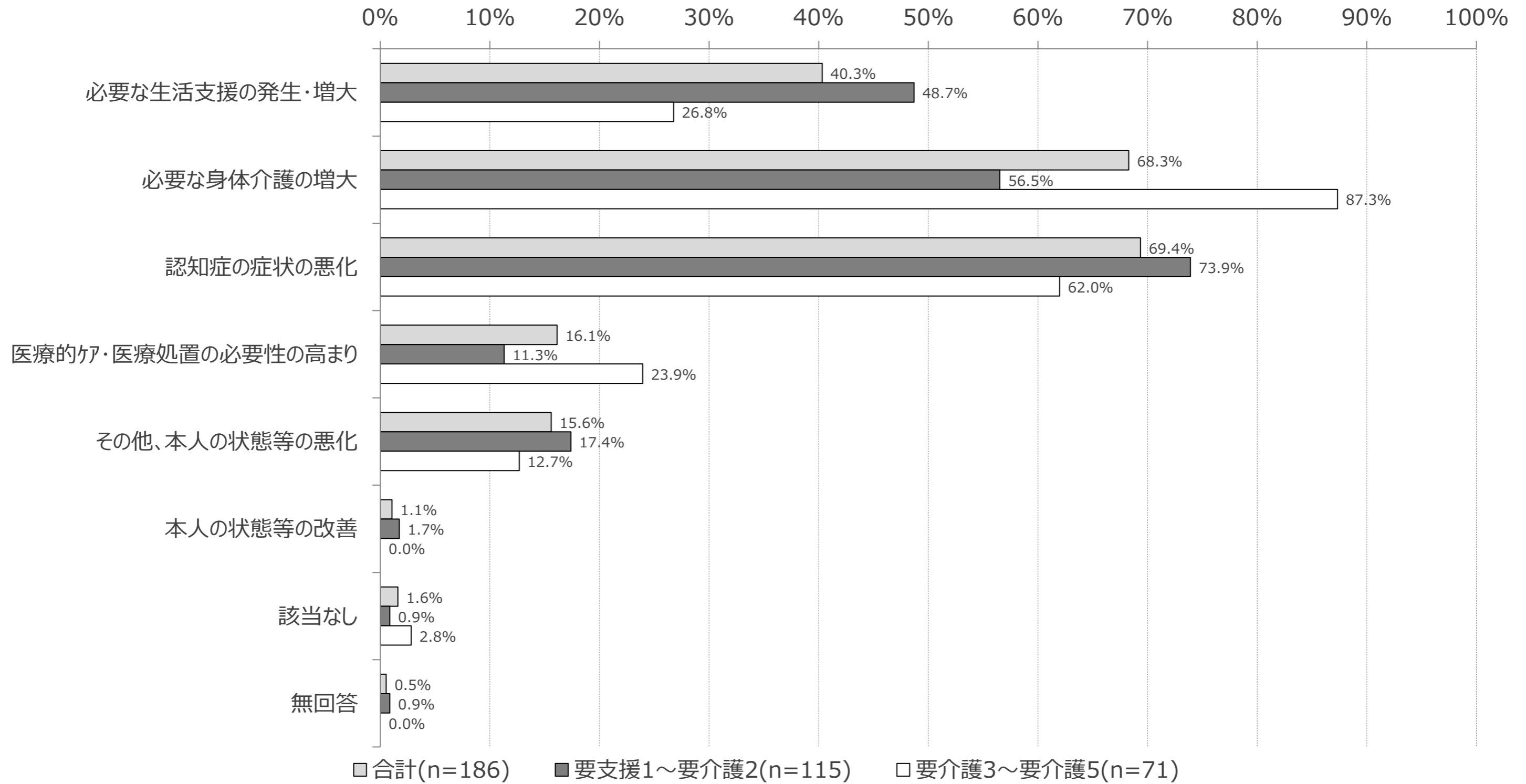
(注)「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位 (上位10類型)	回答数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等(持ち家)	自宅等(借家)	サ高住・住宅型有料・軽費	介2以下	介3以上
1	37人	42人	19.9%				★	★			★	
2	33人	37人	17.7%	★				★			★	
3	25人	28人	13.4%				★	★				★
4	20人	23人	10.8%		★			★			★	
5	12人	14人	6.5%			★		★			★	
5	12人	14人	6.5%		★			★				★
7	11人	12人	5.9%	★				★				★
8	9人	10人	4.8%			★		★				★
8	9人	10人	4.8%	★						★		★
10	6人	7人	3.2%	★					★		★	
上記以外	12人	13人	6.5%									
合計	186人	210人	100.0%									

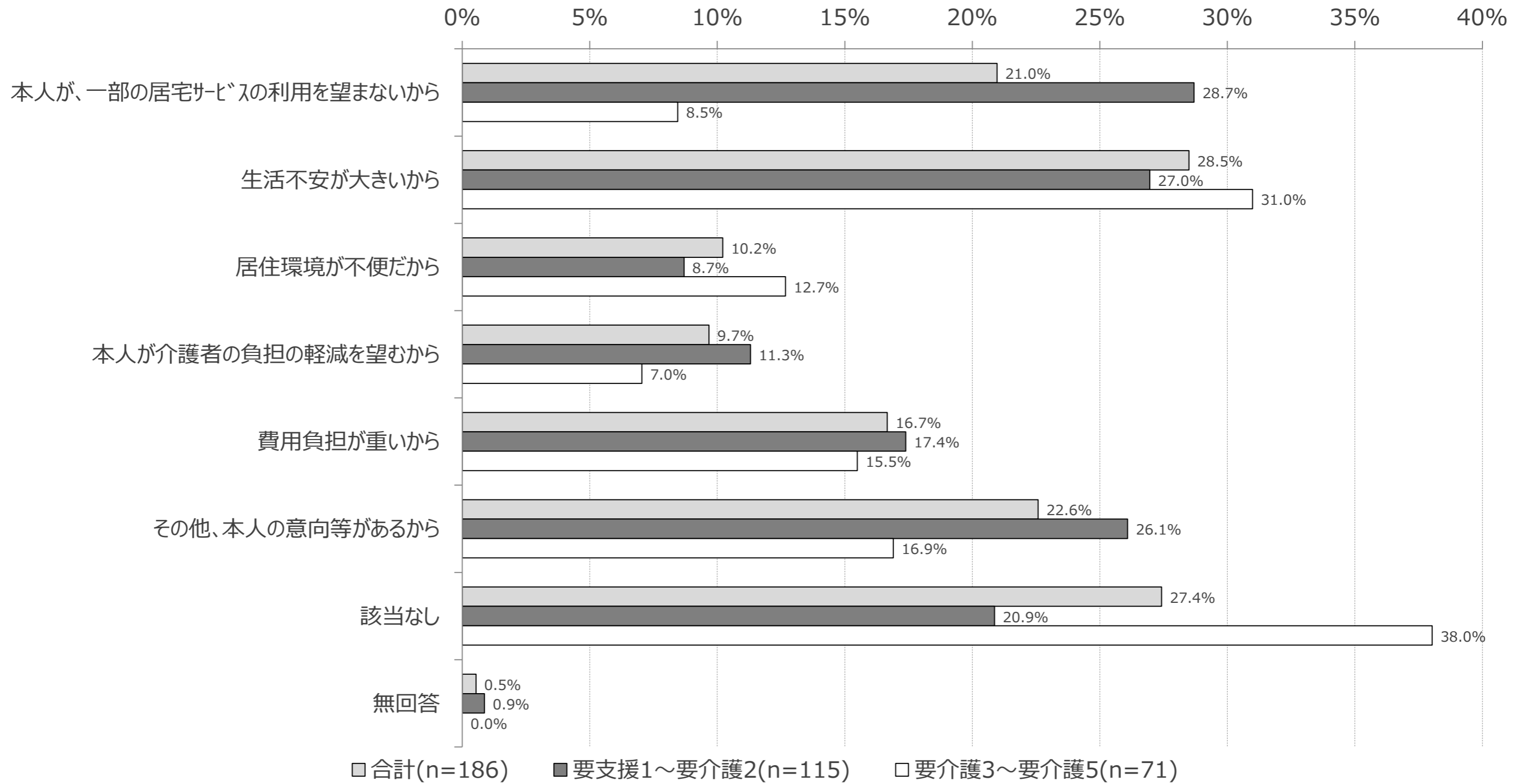
(注) 「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (本人の状態に属する理由、複数回答)



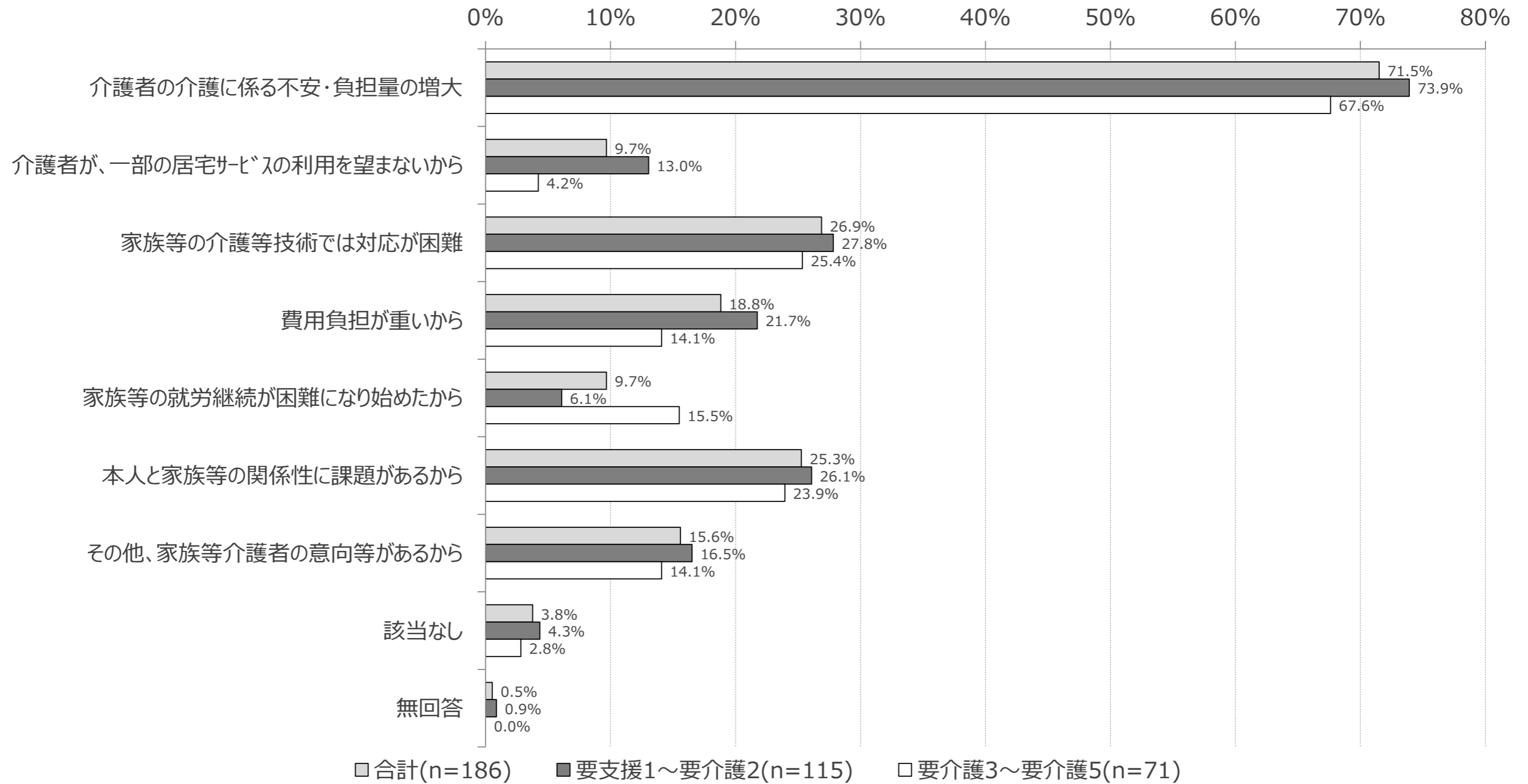
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (本人の意向に属する理由、複数回答)



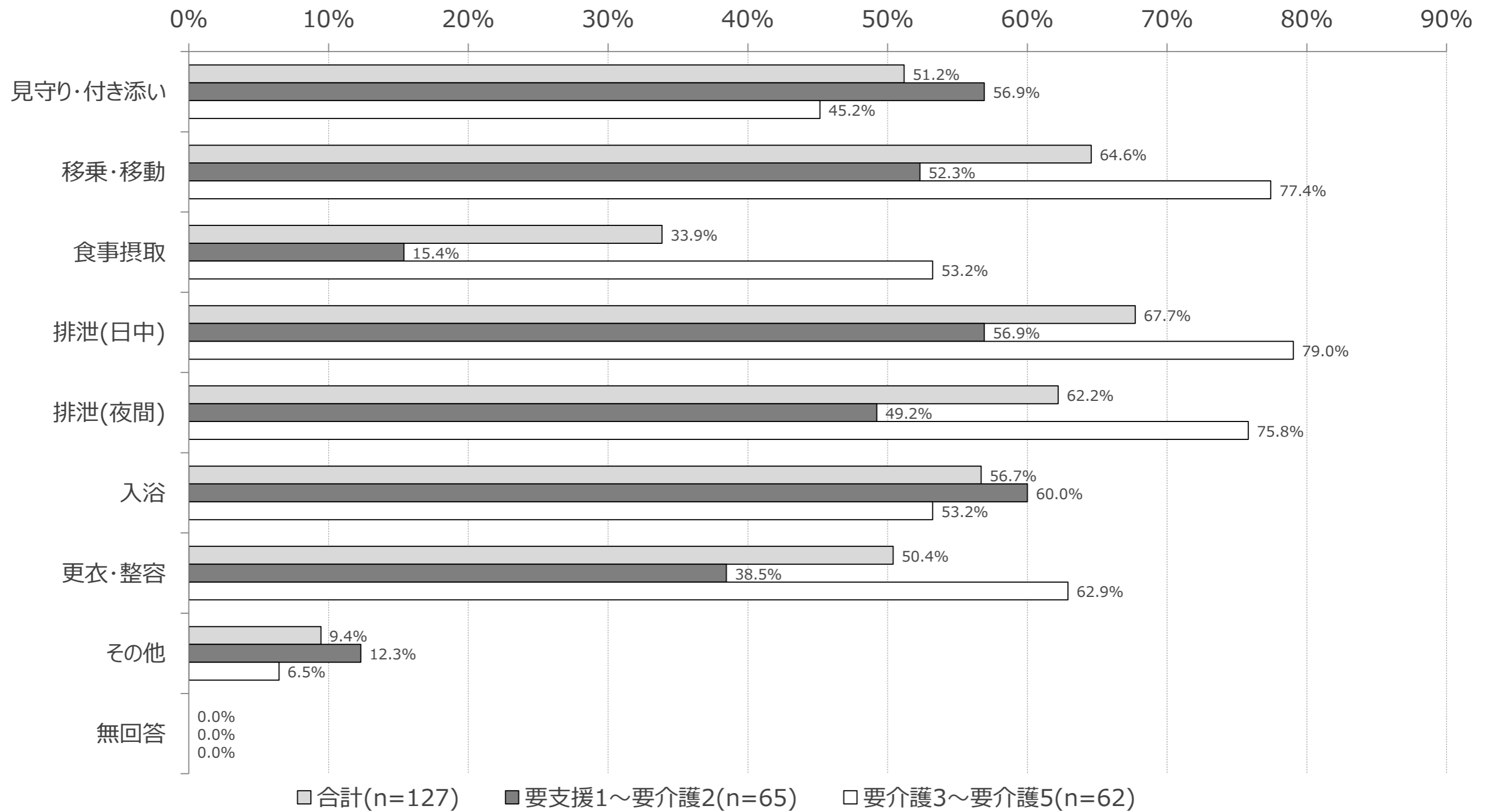
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)



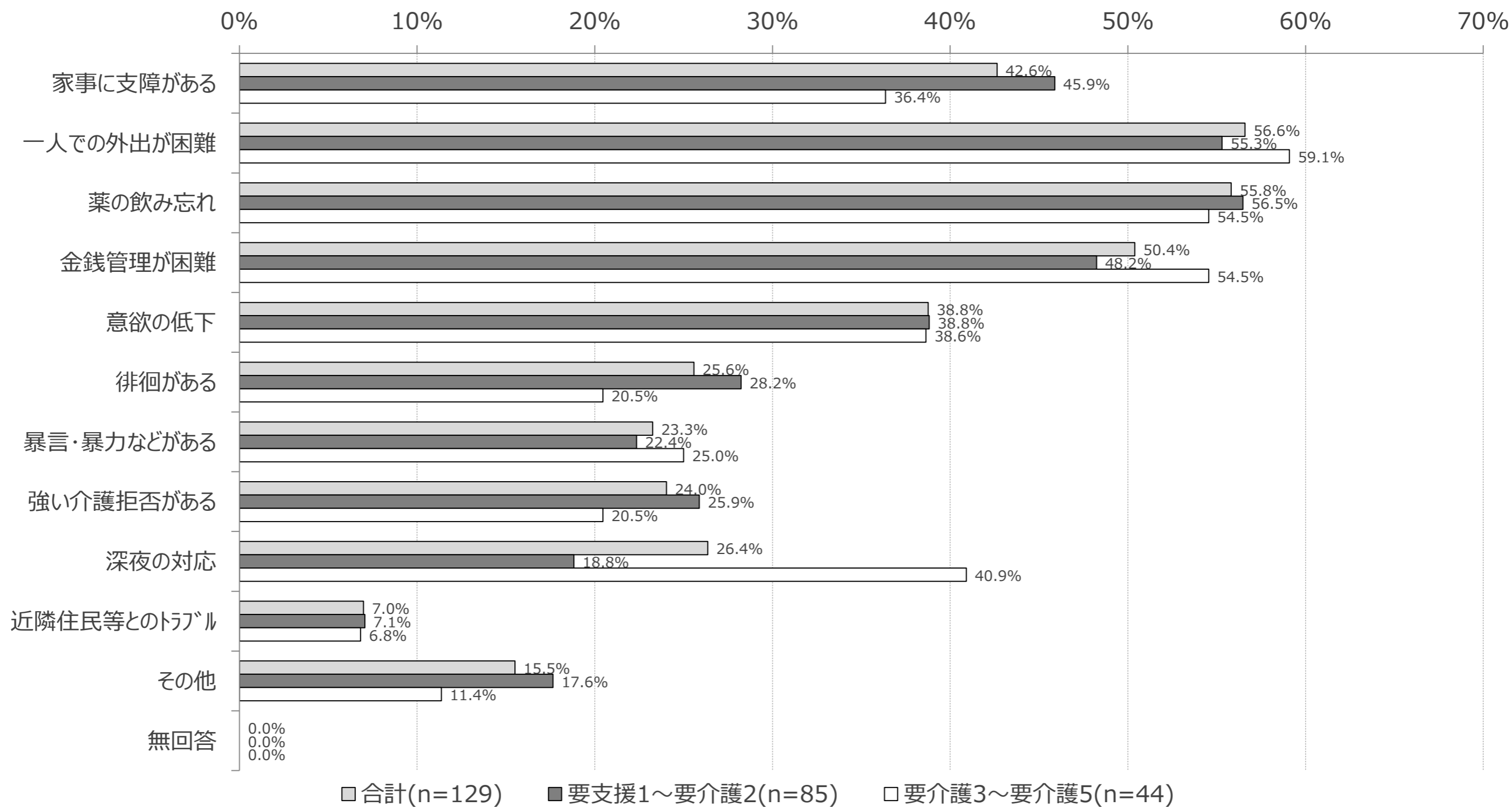
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



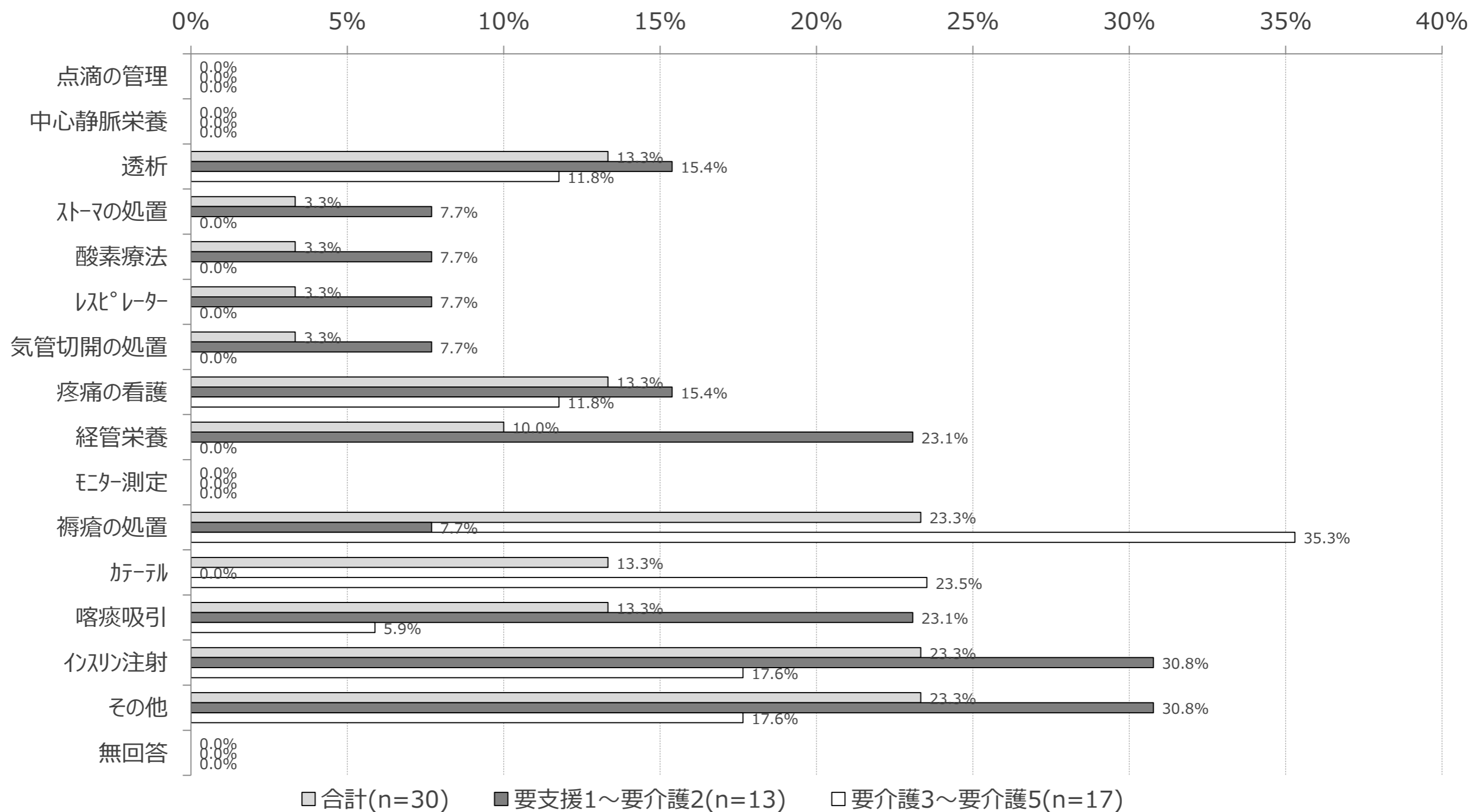
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



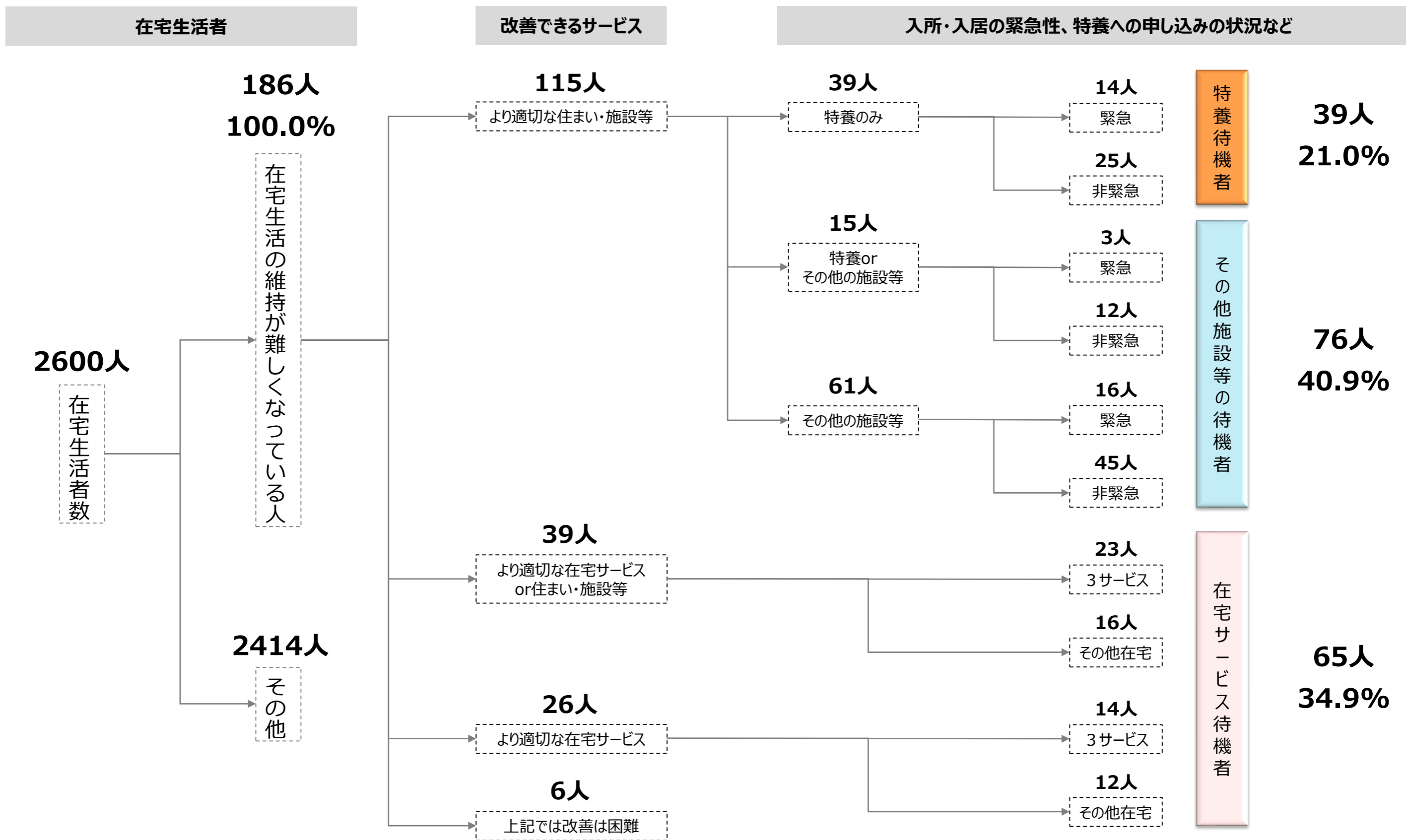
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



(注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2) 「生活の維持が難しくなっている人」の合計186人のうち、上記の分類が可能な186人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（%）は、186人を分母として算出したものです。

(注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の 生活の改善に必要なサービス（複数回答）

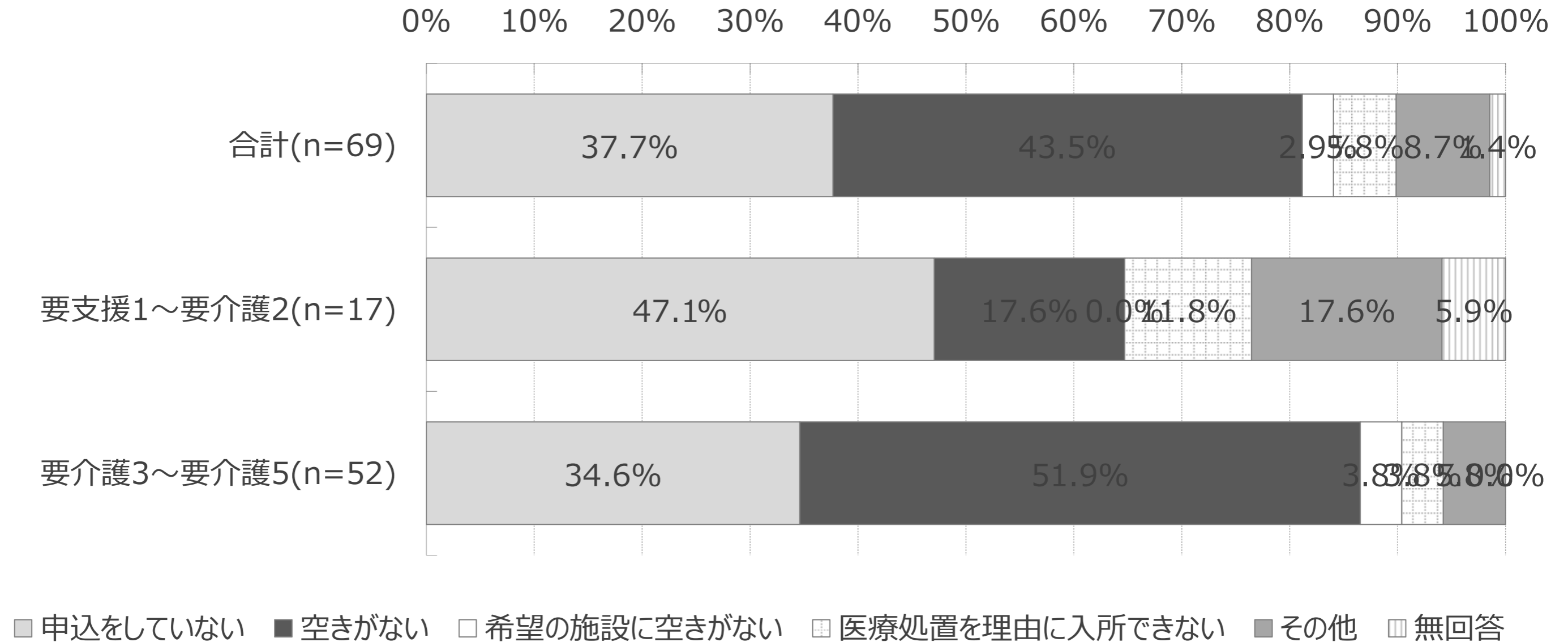
生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(76人)		在宅サービス待機者(65人)	
住まい・施設等	住宅型有料	7人 9.2%	住宅型有料	4人 6.2%
	サ高住	8人 10.5%	サ高住	6人 9.2%
	軽費老人ホーム	7人 9.2%	軽費老人ホーム	5人 7.7%
	グループホーム	50人 65.8%	グループホーム	17人 26.2%
	特定施設	17人 22.4%	特定施設	10人 15.4%
	介護老人保健施設	17人 22.4%	介護老人保健施設	5人 7.7%
	療養型・介護医療院	9人 11.8%	療養型・介護医療院	2人 3.1%
	特別養護老人ホーム	15人 19.7%	特別養護老人ホーム	15人 23.1%
在宅サービス	-		ショートステイ	28人 43.1%
			訪問介護、訪問入浴	12人 18.5%
			夜間対応型訪問介護	5人 7.7%
			訪問看護	3人 4.6%
			訪問リハ	2人 3.1%
			通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	13人 20.0%
			定期巡回サービス	18人 27.7%
			小規模多機能	18人 27.7%
			看護小規模多機能	12人 18.5%

生活の改善に向けて、
代替が可能

(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者76人、在宅サービス待機者65人を分母として算出したものです。

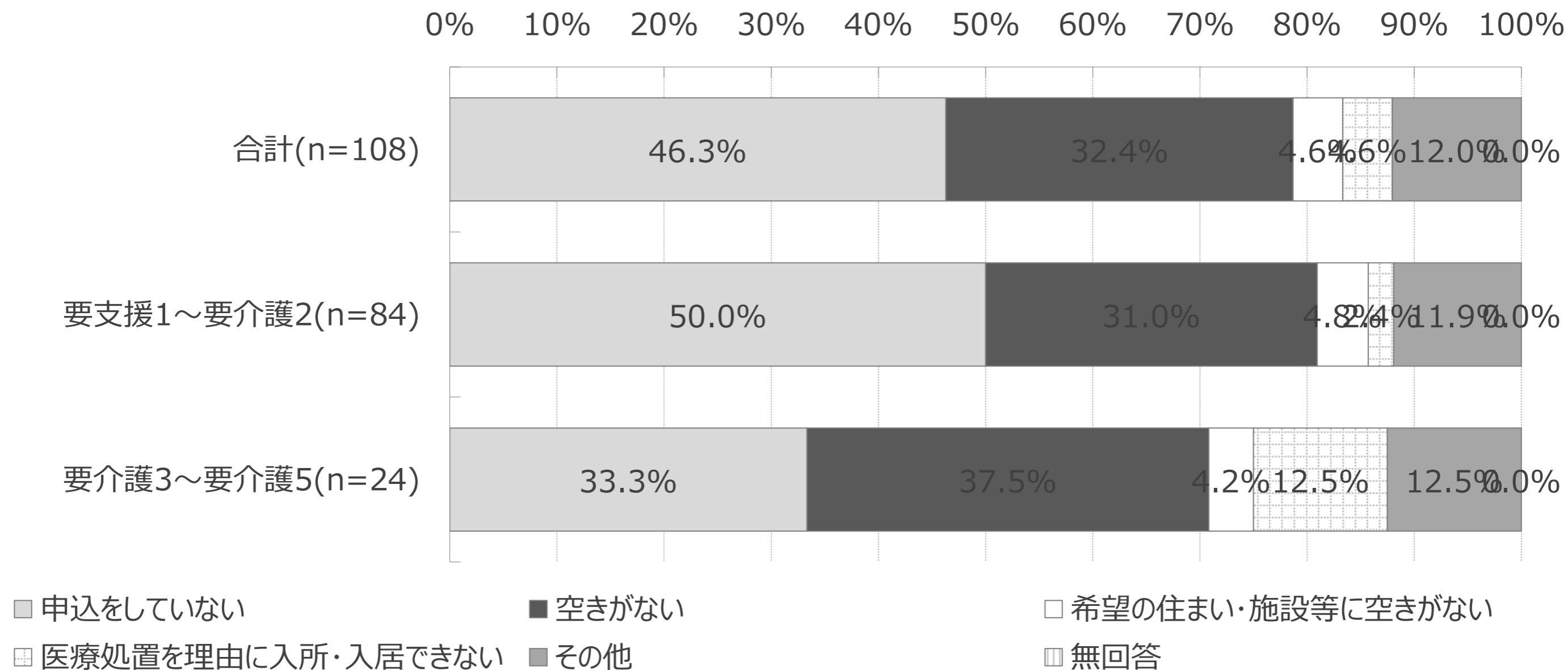
(注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能としています。

特養に入所できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養を選択した人)



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人)



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。